

INSECPT RATE GENERAL OF CUSTOMS,
^(INSPECTORATE⁴⁾)

Shanghai, 19th January, 1935.

Dear Monsieur Ariyoshi,

I beg to acknowledge receipt of Your Excellency's letter of 16th January in reply to my letter of the 14th instant; and of your Note also dated 16th instant explaining Your Excellency's views regarding Mr.Kishimoto's case.

Yours sincerely,

Signed : F. W. Maze.

To :

His Excellency

Monsieur A. Ariyoshi,

etc., etc., etc.,

SHANGHAI.

驅 沖 藏本のチーフ・セクレタリー復職は昭和十年一月四日
田に実現し、本件は翌五日発在中国有吉公使より広

田外務大臣宛電報第11〇号にて報告された。

2 藏本書記生失踪事件

616 昭和9年6月9日

在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

藏本書記生失踪じつじ

南京 6月9日前發
本省 6月9日後着

第六二六號(大至急)

公使ノ歸滬ヲ見送ルヘク八日午後十時半頃辻自動車雇入ノ

爲單身當館構外ニ出テタル藏本ハ公使ノ見送ヲ行ヒ得サリ

シノミナラス本九日ニ至ルモ歸宅セス館員及警察署員全部

ニテ夜半ヨリ邦人宅ヲ尋ネ見タルモ(館員カ邦人宅以外ノ

場所ニ外泊スルコト無キ當地實狀ハ御存シノ通リ)未タニ

(午前十一時)同人所在ヲ突止メ得ス

同人カ個人的理由ニ依リ失踪セルモノトハ思考セラレサル

モ今少シク事態ヲ正確ニ見極ムル必要モアリ早朝不取敢館

員及警察署長ヲシテ夫々外交部、警察廳、憲兵隊ニ申入レ

シメ置キタルカ本日中ニ同人ニ關スル情報無ケレハ本官ヨリ外交部及直接警備責任者ニ對シ嚴重申入ヲ爲ス積リナリ

617 昭和9年6月9日

在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

藏本失踪の原因ニシテ考へられ諸事由じつじ

南京 6月9日前後
本省 6月10日前後

第六二七號(至急)

往電第六二六號ニ關シ

藏本行衛不明事由ニ付大体左ノ如キ場合ヲ考へ得

一、憲兵隊ノ行爲

藏本ハ最近金益鎮引渡問題(北平警察署長ヨリ)1月3日附ヲ以テ金ハ昭和六年五月以來北平大學文科ニ在學シ居

タル朝鮮人ニテ八年一月行衛不明トナリタルカ調査ノ結果

果支那共産黨加盟ノ廉ヲ以テ同年十二月八日北平東城ニ

於テ檢舉サレ本年二月首都憲兵司令部ニ移送セラレ同部

ニ監禁セラレ居ルコト判明セル趣ヲ以テ同人安否確メノ
爲崔正益、金夏鎮ノ兩名朝鮮ヨリ赴寧スルニ付然ルヘク

保護アリ度旨當館警察署長宛依頼越シタル尙本件ニ付テ

ハ本月九日附拙信第三九〇號御參照ニ付憲兵隊ト嚴重
交渉ヲ重ネ居タル經緯モアリ又同人カ數回折衝シタルコ

トアル諜報者周某ヲ同人自身カ意外ニモ憲兵隊構内ニ於
テ目擊シ右周ハ實ハ憲兵隊ノ廻シ者ナリシニ氣付キタル

事實アリ(尤モ同人カ當館構外ニ出テタル時間カ憲兵隊
等カ豫知スルニ至難ナリシ點ニ疑アリ)

三、藍衣社除奸團ノ行爲

日支關係ノ好轉ヲ阻止セム爲或ハ反蔣策動ノ目的ヲ以テ
同人ニ危害ヲ及ホシタルモノトモ考ヘラル但其ノ目標人
物餘リニ小ニ失スルノ點ニ於テ疑問アリ

三、鮮人ノ行爲

當地近郊江寧鎮ニ根據ヲ置ク不逞鮮人(往電第五一八號
及第五七六號等御參照)ノ行爲モ考ヘラレサルニアラサ
ルモ彼等カ誤解セルモノナラハ兎モ角鮮人カ特ニ同人ヲ

三、鮮人ノ行爲

日支關係ノ好轉ヲ阻止セム爲或ハ反蔣策動ノ目的ヲ以テ
同人ニ危害ヲ及ホシタルモノトモ考ヘラル但其ノ目標人
物餘リニ小ニ失スルノ點ニ於テ疑問アリ

三、鮮人ノ行爲

日支關係ノ好轉ヲ阻止セム爲或ハ反蔣策動ノ目的ヲ以テ
同人ニ危害ヲ及ホシタルモノトモ考ヘラレサルニアラサ
ルモ彼等カ誤解セルモノナラハ兎モ角鮮人カ特ニ同人ヲ

三、鮮人ノ行爲

十日ノ當地支那紙ハ一齊ニ「奇怪ナル失踪事件」ト題シ當
館カ外交部、警察廳、憲兵司令部ニ館員ヲ派シ藏本八日午

後十一時有吉公使見送リノ爲下關停車場ニ赴キタル儘歸宅
セス行衛不明トナリタルニ付搜查アリ度旨申入レタル事實

ヲ述フルト共ニ各關係機關ニ於テ事件ノ真相極力嚴查中ナ

ルモ今迄ノ所何等消息無キ旨ヲ報道シ居ル處獨リ新民報ハ
右ノ外本件ニ關スル上海聯合ノ消息ヲ簡單ニ掲ケタル上本

消息傳ハルヤ軍警ノ警戒嚴重ナル爲反動分子影ヲ潛メタル
旨特報シ居レリ

尙同紙ハ別欄ニ於テ杭州電トシテ同地青年勵志會ハ日本人
吉星某支那人葉木花ヲ殺害シタル事件ニ關シ國民政府ニ嚴
重交渉方ヲ電請スルト共ニ政府ヲ後援スヘキ通電ヲ發シタ
ル旨ヲ報道シ居レルカ本件ヲ藏本事件ニ利用サルル惧無シ
トセス何等御參考迄

支、北平、杭州へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ
藏本失踪に関する中國紙報道振りについて

619 昭和9年6月10日 在南京須磨總領事より
在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

午後六時次官ヨリノ電命ニ依ル
南 京 6月10日後発
本 省 6月11日前着

四、私生活上ノ問題

當館警察署ヲシテ關係各方面ニ付調査セシメタル處只今
ノ所此ノ方面ニ原因カ伏在スヘシトハ斷定シ難キモ尙多
少疑ノ餘地アリ折角内偵ニ努メ居レリ

以上ノ内一、四カ最有力ナリト思考セラルル處四ナラハ問

題ハナキモ一ナラハ支那側ハ極力證據ノ湮滅ニ努ムヘク王

慰三事件(客年本官發支宛電報第六九號)ノ例ニ依リ有耶無

耶ニ葬ラルノ惧モアリ日支關係カ好轉ノ氣運ニ向ヒツツ
アル今日強硬態度ヲ執ラサルヲ得サルハ遺憾ナルモニ、三

日爲念支那側ノ搜查振等形勢ヲ慎重ニ見送リタル後四ノ場
合ナルヘキ物的證據等(例ヘハ遺書等)現ハレサルニ於テハ

本官ヨリ將來我方ヨリ支那側ニ對シ爲スヘキ要求(本官腹
案ハ追テ追電ス)ヲ留保シツツ外交部ニ對シ不取敢首都ニ

於ケル領事館員ノ保護ヲ全フシ得サリシハ支那側ノ大失態
ナル旨嚴重申入ル積リナルニ付テハ御意見モアラハ至急

御回示相成度シ

右冒頭電報補足旁追電ス

冒頭往電ノ通り轉電セリ

藏本失踪事件への中国側対応振り次第では陳

謝要求など申入れ方意見具申

別電 六月十日發在南京須磨總領事より広田外務大

臣宛第六三九号

右申入れ案

南京 6月10日後発
本省 6月11日前着(1) 第六三八號(極秘)
往電第六二七號ニ關シ

藏本行方不明ノ原因カ一ニアリトシテ(之カ物的證據ノ蒐集ハ殆ト不可能ナルモ當方ニ於テハ現在ノ所其ノ方針ニテ進ミ居レリ)本官トシテハ別電第六三九號ノ如キ要求ヲ支那側ノ搜查ニ實効ナキニ於テハ我方ノ手ニテ捜査ヲ進ムルノ外ナシト言フ程ノ氣構ニテ適當ノ時期ニ提出スルヲ要スルヤニ思考セラレ右様ノ氣持ニテ支那側ノ調査振ヲ監視スル一方各種事情ノ内偵ニ努メ居ル次第ナリ

支那側ハ相當色メキ立チ外交部ハ本十日日曜ニ拘ラス總出

ナル證據ナキコトヲ確メタル上ニテ支那側ニ對シ交渉ヲ開始スルニ於テハ時期ヲ失スルノ恨アリト思考ス)
本電別電二通ト共ニ冒頭往電ノ通り轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

(別電)

南京 6月10日後発
本省 6月11日前着

第六三九號

一定期間内ニ藏本副領事ノ行方ヲ確カメ得サルニ於テハ支那側不逞分子ニ殺害セラレタルモノト看做ス然ルニ同人ハ現職ノ領事官タルノミナラス事件カ國民政府首都南京而モ帝國總領事館附近ニ於テ職務執行ノ途中發生セルモノナル點ニ顧ミ支那側ハ直ニ次ノ如キ措置ヲ實行スヘシ
一、國民政府ノ名ニ於テスル陳謝
二、警備責任者ノ處罰
三、排日運動ノ徹底的取締

四、遺族慰藉料三十萬元ノ支拂(算出基礎別電第六四〇號ノ通)

ニテ對策ヲ講シ居リ又谷憲兵司令ハ○參謀長ヲ本官ノ許ニ特派シ昨九日ヨリ司令自ラ搜索指揮シ居ルモ手掛リナシトテ當方ノ事情ヲ聽取セシムル所アリ又警察廳ハ九日督察處長ヲ當館ニ簡派シ本十日モニ回派員シ参考事情ノ聽取ニ當ラシメ居ル實情ナルカ結局本件ヲ出來得ル限り簡單ニ取扱ヒ有耶無耶ノ裡ニ葬リ去ラントスルハ必定ナリ
(2) 然ルニ此ノ際別電第六三九號腹案ノ如キ相當強硬ナル措置ヲ執ラサレハ在支居留民保護ニモ影響スル所尠カラス他方右本件取扱振ヲウマクサヘ遣レハ却テ兩國關係ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルコトモナルヘキヤニ存セラルニ付テハ早キニ及ンテ之カ對策ヲ準備シ置クコト必要ナリト思考セラル尤モ行衛不明ノ原因カ冒頭往電ノ通ナルコト後ニ至リテ判明スルコトモ勿論考ヘ得ル所ナルカ(往電第六二九號御参照)此ノ場合我方カ他殺ナリト言ヒ張レハ支那側ハ有力ナル反駁材料ヲ提出シ得サルヘキヲ以テ之ヲ押通スノ覺悟ヲ要スル儀ト存セラル但シ現實ニハ幾多機微ナル考慮ヲ必至トスヘク中央ニ於ケル大局的見地ヨリ種々御考慮中トハ存スルモ當方實狀及卑見申進シ旁電請スル次第ナリ(例へハ一週間ナリ十日ナリ待チ四、ノ原因ニ依リ失踪セルモノ

621 昭和9年6月11日 広田外務大臣より
在南京須磨總領事宛(電報)貴電第六二六號乃至第六二九號ニ關シ
藏本失踪に關して中國側への申入れ方針につき訓令

本省 6月11日後1時30分発

第九六號(大至急)

一、右貴電第六二七號末尾括弧内ノ貴官腹案ハ未タ接到セサル處支那側カ藏本ノ失跡ハ個人的原因ニ依ルモノナリトノ證明ヲナシ得サル見込立チタル上ハ不敢貴電第六二七號末段ノ通外交部ニ嚴重申入ラレ度將來我方ノ支那ニ對シ爲スヘキ要求ハ篤ト研究ヲ遂ケタル上提出スルコト致度尙此際居留民ノ輕舉妄動ニ依リ兩國ノ一般關係ヲ無用ニ悪化セシムルカ如キコトナキヲスル次第ニ付在留民ノ保護及取締ニ付テハ右御含ニテ海軍側トモ協議ノ上遺憾ナキヲ期セラレ度(海軍省ト協議済)
尙當方ニ於テモ自殺説等流布セラレサル様極力注意シ居ケリ

貴電第六三八號及第六三九號只今接到セリ

支及北平ニ轉電セリ

622 昭和9年6月11日 在南京須磨總領事より
在中國若杉公使館一等書記官、在天津川越總領事、在青島坂根總領事他宛(電報)

622 昭和9年6月11日

広田外務大臣より
在中國若杉公使館一等書記官、在天津川越總領事、在青島坂根總領事他宛(電報)

藏本失踪事件に鑑み中国各地抗日団体による
在留邦人への不穏行動警戒方訓令

本省 6月11日後6時40分発

合第六五四號

至急情報

南京總領事館藏本書記生カ八日夜南京ニ於テ行方不明トナリタル事件ニ付テハ近ク南京政府ニ對シ交渉開始スルニ至ルヘキ處藍衣社其ノ他支那各地ノ抗日團體カ本件交渉開始ヲ口實トシ在留邦人ニ對シ不穏ノ行動ニ出ツルコトナキヲ保シ難キニ付之カ嚴重取締方ニ付豫メ留意セラルト同時ニ居留民ノ指導方ニ付テモ御配慮アリ度シ

至急情報通轉電アリ度シ

上海ヨリ支へ轉報アリ度シ

623 昭和9年6月11日 在南京須磨總領事より
藏本失踪事件に關し中国側への責任追求を十
三日にも行いたい旨意見真申

南京 6月11日後発
本省 6月11日後着

第六四四號(至急、極秘)
往電第六二七號ニ關シ

支那側ハ何氣無キ體ヲ裝ヒツツアルモ其ノ動搖ハ充分外部ニ看取セラレ本官ノ沈默ニ對シ却テ支那側ニ無氣味ナル氣分ヲ與ヘ居ル模様ナルカ支那側ハソロソロ自殺說、不逞鮮人ノ殺害說等ヲ考出シテ對抗シ來ル形勢アルヲ以テ此ノ上ノ沈默ハ交渉上極メテ不利益ナリト思考セラルルニ付テハ冒頭往電末段申入ヲ遲ク共十三日中ニハ試ミル積リナルニ付貴見折返シ御回示相成度シ

支、北平へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

624 昭和9年6月11日 在中國有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

中国側の藏本失踪事件真相解明への努力に期
待するとの我が方コミニケについて

上海 6月11日後発
本省 6月11日後着

第四六九號

本十一日午後當館ヨリ左記「コミニケ」ヲ發表セリ

藏本失踪事件ニ對シテハ公使館トシテモ非常ニ憂慮シテ居ルカ何分未タ眞相判明セサル爲意見發表ノ時期ニハ達シテ居ナイ現在ノ措置トシテハ事件ノ眞相ヲ糾明スル事カ最モ緊要事テアル既ニ夫々必要ノ手配ヲ了シタ從テ事件ノ眞相ハ早晚必スヤ分明スヘキヲ信スルモノテアルカ其ノ時期ヲ一日モ速カナラシムル爲支那側ノ一層ノ努力ヲ希望スルモノテアル

漢口ヨリ長沙、沙市、宜昌、福州へ轉電アリタシ

南京、北平、天津、青島、濟南、蘇州、杭州、漢口、蕪湖、九江、廣東、福州、廈門、汕頭、香港、滿洲へ轉電シ、上海へ轉報セリ

625 昭和9年6月12日 在南京須磨總領事宛(電報)

藏本失踪に關する中国側への責任追及申入れ
方訓令

上海 6月11日後発
本省 6月12日後3時45分発

第一〇〇號(大至急、極秘)
貴電第六四四號ニ關シ

往電第九六號申進メノ通貴方ニ於テ支那側カ自殺說ヲ積む
的ニ證明シ得サルヘキ見末付ケハ差當リノ措置トシテ貴電
第六二號末尾ノ通卽チ首都ニ於テ本件ノ發生ヲ見且失踪後既ニ數日ヲ經過セル今日尙捜査ノ實ヲ擧ケ得サルハ國民政
府ノ失態ニテ帝國政府ハ在支帝國官民ノ安寧上多大ノ關心ヲ有シ居レリ尙將來我方ノナスヘキ要求(要求ニ關シテハ當方ニ於テモ折角研究中)ヲ留保ストノ趣旨ヲ申入レラレ
差支ナシ

支、北平ニ轉電セリ

626 昭和9年6月12日 広田外務大臣より

在南京須磨總領事宛(電報)

中國側が藏本失踪事件に対し誠意ある態度を
とする限り事態の紛糾を避けるべき旨訓令

本省 6月12日後4時20分発

第一〇一號(至急、極秘)

往電第一〇〇號ニ關シ

捜査及事件ノ解決ニ對シテハ我方ハ飽ク迄支那側ノ責任ヲ
問フヘキハ勿論ナリ但シ支那側ノ態度ニシテ誠意ノアルモ
ノナルニ於テハ我方モ出來得ル限り事態ノ紛糾ヲ避ケ(固
ヨリ相當ノ要求ハ提出スヘシ)事件ヲ解決シ度意向ナリ右
趣旨ハ隨時支那側ニ徹底セシメ支那側ニ於テ不當ノ宣傳ヲ
ナシ事件ノ抹殺ヲ計ル等ノ態度ニ出テ問題ヲ「コンプリ
ケート」セシムルコトナク誠意アリ正直ナル態度ヲ執ル様
適當指導セラレ度

支、北平へ轉電セリ

628 昭和9年6月12日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

中国紙による藏本拉致殺害説などの報道振り
について

南京 6月12日後発
本省 6月12日後着

627 昭和9年6月12日 在中国有吉公使より
陸軍側が藏本失踪事件を第二の中村事件として重視しつつあるとの電通通信について

上海 6月12日後発
本省 6月12日後着

第四七七號

十二日東京發電通ハ藏本事件ニ對シ陸軍ニテハ汪精衛等排
擊ヲ目的トスル祕密結社ノ行爲ナリト看做シ其ノ責任ハ當
然支那當局カ負フヘキモノニシテ此ノ種問題ヲ有耶無耶ト
セハ滿洲事變直前ノ如キ事態ヲ再現スル虞アリ第二ノ中村
事件トシテ重視シツツアル旨報道シ居レリ御参考迄

殺害説ハ取ルニ足ラス上海方面ニハ藏本カ船ニ依リ大連

ニ赴キタリトノ說アルカ據所ナキニアラス同人ノ私的行
動ヲ探レハ或ハ捜査上ノ便宜ヲ得ヘシ要スルニ真相判明
前ノ臆測ハ之ヲ避ケサルヘカラストノ記事掲載セラレタ
リ(中央日報、朝報)

支、北平へ轉電セリ

629 昭和9年6月12日 在中国有吉公使より
広田外務大臣宛(電報)

藏本失踪事件に關し中國側との和親的交渉お
よび本邦新聞の高圧的論調への指導の必要性
につき意見具申

上海 6月12日後発
本省 6月12日後着

貴電第一八〇號ニ關シ(藏本失踪一件)

第四七九號(極秘)

ナラス日本側亦警察ヲ有シ居レハ加害行爲ヲ爲シ得サル
ハ明カナリ南京ハ遷都以來警備組織完備シ治安ハ確保セ

ラレテ殺害事件發生セルコトナシ又上海事件當時南京ハ
上海ト指尺^(短尺)ノ間ニアルニ拘ラス日本人ニ何等危害カ加ヘ
ラレサリシ事實ニ想到セハ現在ノ日支關係ニ於ケル同人

本問題措置振ニ關スル本使ノ意嚮ハ南京宛貴電第一〇一號
ト全然同趣旨ニシテ右ハ往電第一七三號有野ニ委細申聞ケ

置ケル次第ナリ即チ本件原因ハ南京發閣下宛電報第六二七號一乃至四(朝鮮人ノ場合ニハ藏本(カ)領事館出入ノ朝鮮

人「スパイ」ト誤ラレ致セラレ罪跡湮滅ノ爲殺サレタルヤノ想像モアリ取調中ノ外強奪殺人ノ場合ヲモ考ヘラレ是等諸原因ハ各相當ノ理由有リ調査ヲ待タス獨斷的ニ孰レトモ斷定シ難キコト勿論ニシテ從テ我方ノ支那側ニ對スル要求ハ右原因ノ如何乃至本件交渉ニ於ケル支那側誠意ノ程度等ニ依リ篤ト攻究ノ上決定スヘキ筋合ノモノナルカ我方トシテハ差當リ支那側ヲシテ虛心坦懐充分ノ誠意ヲ以テ眞相糺明ニ努力セシムル様指導シ先方ノ取調振ニ付常ニ充分ノ情報ヲ供給セシメ是等ニ依リ先方ノ誠意ヲ判定スルト共ニ右調査ノ結果如何ニ依リ支那側ノ責任ヲ問フヘキハ勿論ナルモ

前記取調方ノ要求及責任ノ糾問等ノ交渉ニ於ケル我方ノ態度ハ先方ニ於テ充分ノ誠意ヲ示ス限り和親及合理的タルコト必要ト存セラレ當方ニ於テハ右ノ趣旨ニ依リ外部ニ應酬シ居ル次第ナリ(往電第四六九號御参照尙本件解決ハ「ケース」ノ「メリット」ニ依ルコトヲ根本義トスルコト肝要ニシテ本件カ國民政府抗日策ノ一表現ナルコトニ付確

630 昭和9年6月13日 広田外務大臣より

在南京須磨總領事宛(電報)

藏本失踪事件における事態の紛糾を避けるた
め新聞報道取締強化の必要性につき在邦中

国公使館側と意見交換について

本省 6月13日後3時0分発

十二日丁參事官係官ヲ來訪、國民政府ノ訓令ニヨル趣ヲ以
第一〇三號

第六五三號
貴電第九六號ニ關シ
本件ハ支那側ノ緊張セル機會ニ早目ニ先方ノ責任タル點ニ付地固メシ置ク事有利ナリト認メ十二日本官有野(同日來寧)ト同行汪兆銘ヲ訪問セルカ

一、劈頭汪ハ藏本氏ノ失踪以來軍警各機關ヲ總動員シ搜查ニ努力シ居ルモ今日迄結果ナキハ眞ニ遺憾ニ堪ヘスト挨拶シタルカ本官ヨリ特ニ帝國政府ノ訓令ニ依ル趣ヲ告ケ事件發生以來四日目ノ今日迄本人ノ安否サヘ判明セサルハ本官ノ遺憾トスル所ナル事務執行中ノ外交官殊ニ首都ニ於テ發生ノ本件ニ對シ搜查保護ヲ全フシ得サル一切ノ責任ハ支那政府ニ於テ負フヘキモノナル事ノ二點及本件ニ關スル帝國政府ノ要求事項ニ付テハ之ヲ留保スル旨ヲ極メテ嚴肅ナル態度ニテ申聞ケタル處

二、汪ハ可成リ狼狽ノ体ニテ憂色面ニ現ハレ居タルカ素直ニ支、北平ニ轉電セリ

631 昭和9年6月13日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛電報

藏本失踪事件の中國側責任問題につき汪兆銘

へ申入れについて

證ヲ得サル限り之カ解決ヲ或種對支政策ノ實行ニ結着ケン
トスル考ハ頗ル危險ナリト存セラレ
南京宛貴電第一〇一號支那側ノ逆宣傳ニ對シテハ隨時注意ヲ喚起スヘキハ勿論ナルカ本邦新聞(南京電)ニ於テモ本件カ國民政府當局ノ惡意ニ基ク行爲ナルノミナラス先方ノ態度誠意無キヲ以テ其ノ責任重大ナルコト及我方ニ於テハ強壓ヲ加ヘテ支那側ノ責任ヲ問フヘシトノ趣旨ヲ盛ニ掲載シ居ル處此ノ調子ニ放任セハ引込ノ付カヌ羽目ニ陥ル惧アルニ付右ニ對シテハ各方面ニ於テ充分御指導方肝要ト存ス南京、北平ヘ轉電シ、上海ヘ轉報セリ

證ヲ得サル限り之カ解決ヲ或種對支政策ノ實行ニ結着ケン
トスル考ハ頗ル危險ナリト存セラレ
南京宛貴電第一〇一號支那側ノ逆宣傳ニ對シテハ隨時注意ヲ喚起スヘキハ勿論ナルカ本邦新聞(南京電)ニ於テモ本件カ國民政府當局ノ惡意ニ基ク行爲ナルノミナラス先方ノ態度誠意無キヲ以テ其ノ責任重大ナルコト及我方ニ於テハ強壓ヲ加ヘテ支那側ノ責任ヲ問フヘシトノ趣旨ヲ盛ニ掲載シ居ル處此ノ調子ニ放任セハ引込ノ付カヌ羽目ニ陥ル惧アルニ付右ニ對シテハ各方面ニ於テ充分御指導方肝要ト存ス南京、北平ヘ轉電シ、上海ヘ轉報セリ

南京 6月13日後発
本省 6月13日後着

最惡ノ時機ニ於テモ此ノ種事件ノナカリシ次第ヲ述ヘ又世界各國ノ首都ニ比シ南京ハ此ノ種事件ノ眞相比較的早目ニ判明スル事今回ハ特ニ軍警兩機關ノ活動ノ外中央黨部ノ援助ヲ求メ居ル事及今後モ引續キ最大ノ努力ヲ以テ原因ノ調査ヲ爲スヘキ事等種々説明且ツ辯明セリ

三、依テ本官ヨリ右御答ノ次第及御説明ノ點ハ夫々政府及公使ニ報告スヘシト述ヘ尙此ノ上トモ支那側ノ捜査保護ニ依リ一刻モ早ク藏本カ安全ニ歸來セムコトヲ希念シ居ル旨附言シ置ケリ

四、尙汪ハ右談話中中央黨部側ニテ最近窮境ニ在ル共產黨カ餘命ヲ保タム爲ニ爲シタル所爲ニアラスヤトノ話アリタルコト從來トモ日本側ノ保護ニ注意シ居ルコト等ヲ述ヘタルニ付本官ハ從來憲兵等ハ遣方カ保護ニアラスシテ無用ニシテ且卑怯ナル監視ノ爲ナル實情ニ顧ミ六日本官ヨリ谷正倫ニ警告シタル經緯及藏本カ最近常ニ特務隊ノ尾行ヲ受ケ恐怖ヲ感シ居タル事情等ヲ説示シタルニ王ハ 汪カ 一タ之ニ領キ右ハ充分取締ルヘキニ付今後右ノ如キ所爲アラハ隨時申出ヲ請フ旨答ヘ尙最後二王ハ藏本氏ノ失踪ニ對シテハ自分モ貴官ト同様ノ程度ニ重大ノ關心ヲ拂ヒ

支ヨリ上海へ轉電セリ
昭和9年6月13日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

632 藏本失踪事件の交渉に対する現地陸海軍側態

度について

付記 六月十二日発在南京高橋(坦)駐在武官より植田(謙吉)參謀次長宛電報南第一四二号

藏本失踪事件を契機として日本の威信拡大を図るため外務省および海軍へ督励方意見具申

南京 6月13日前發

本省 6月13日前着

第六五五號(極秘)

往電第六五三號ニ關シ

一、歸朝中ナリシ高須第三艦隊參謀長歸任(大治ニ向ケ)ノ途次十二日本官ヲ來訪シ海軍側ニテハ本件交渉ヲ有利ニ導ク爲場合ニ依リテハ第三艦隊及第十一戰隊ノ所屬軍艦十餘隻ヲ南京ニ集中スル案モ考へ得ヘク歸任ノ上長官ト相談スル考ナル由内報シタルカ

二、一方高橋武官ハ同日本官ニ對シ

(一) 本件解決條件提出ニ對シテハ期限ヲ附シ回答ヲ求ムヘキコト

(二) 一般的要求條項ノ外特ニ國民黨解散ノ一項ヲ加フヘキ

院ヨリ非常ニ責メラレ居ルコト及或ハ此ノ際偽犯人ヲ作リテ急場ヲ逃レンカトモ考へ居ルヤノ印象ヲ與ヘタル趣ニテ本件ハ餘り時日遷延スルニ於テハ對内的ニモ機微ノ關係ヲ生シ又支那側ニ於テモ漸次我方ニ不利ナル對策ヲ目論ミ一面或ハ黨部及藍衣社又ハ反蔣派等ノ策動モ擡頭スル懸念無キニアラサルヲ以テ幸ヒ汪院長カ冒頭電ノ如キ態度ナルニモ顧ミ我方ニ於テ此ノ際速ニ方針ヲ確立シ早目ニ交渉ヲ開始スル必要アルモノト思考セラル

支、北平へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタン

ノ二點ヲ鈴木武官ヨリ參謀本部ニ具申シタル旨内報シ(本官ハ態ト批評ヲ避ケタルモ此ノ案ハ俄ニ贊成シ得ス)

高橋モ握潰ス考ナル由)又同日天津駐屯軍司令官ヨリ憲兵ヲ當地ニ派遣シ援助スルモ差支無シトノ來電アリタリ

トテ本官ノ意見ヲ求メタルニ付本官ハ今ノ所必要無キ旨答ヘ置キタリ

三、右ノ如キ事情ニテ事態ハ對内的ニモ重大サヲ加ヘ居ル形勢ナル様思考セラル處他方憲兵司令部申參謀長ハ同日高橋ニ對シ同憲兵側ハ本事件ニ關聯シ軍事委員會及行政

居リ此ノ上共搜查ニ努力スヘキニ付了承アリタシテ殆ト哀願的ニ述ヘ又蔣公使及シユーカクヲシテ貴方及有吉公使ニ夫々本件ニ關シ見舞ヲ述ヘル様命令セル旨語リ居タリ

支、北平へ轉電セリ
昭和9年6月13日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

居リ此ノ上共搜查ニ努力スヘキニ付了承アリタシテ殆ト哀願的ニ述ヘ又蔣公使及シユーカクヲシテ貴方及有吉公使ニ夫々本件ニ關シ見舞ヲ述ヘル様命令セル旨語リ居タリ

ト考フルモ政府ノ對策決スルトコロ之ニ從ヒ大権ノ發動

ニ從ヒ協力スル」ト言フ態度ニテ恰モ第三者ノ如キ感アリ

若シ出先海軍ニシテ眞ニ斯ル態度ヲ採ルニ於テハ總領事ノ

要求スヘキ解決案ヲ支那側ニ承諾セシムルコト到底覺束無

ク本事件ハ却ツテ支那側ヲ增長セシムル事トナルヲ以テ當

方ニ於テモ之カ啓發ニ努ムヘキモ此際中央ニ於カレテモ外

務特ニ海軍側ヲ督勵シ確固タル對策ヲ樹立シ飽ク迄我主張

ト要求ヲ貫徹シ之ヲ契機トシテ帝國ノ對支威信ヲ擴大シ對

日輕視ノ現狀ヲ一掃スルノ要アリト信シ敢テ卑見ヲ具申ス

委細續報ス

支、北平、天津、青島、濟南、漢口、福州、廣東、滿、奉

天、哈爾賓へ轉電セリ

支ヨリ上海へ廣東ヨリ香港、滿ヨリ新京へ轉報アリタシ

~~~~~

634 昭和9年6月13日 在南京須磨總領事より

廣田外務大臣宛(電報)

失踪の理由および経緯に関する藏本の説明振

りについて

南京 6月13日後発

本省 6月13日後着

第六六一號(大至急、極秘)

第六六一號(大至急、關シ)

藏本ハ著シク疲勞衰弱シ且興奮シ居ル本官及有野ニ同人カ途切レ途切レニ語ル所大要左ノ通

息セシメツツアル處附添ヒ慰撫シ居ル本官及有野ニ同人カ途切レ途切レニ語ル所大要左ノ通  
一、自分ハ身分上ノ苦痛及之ニ關聯スル家庭的煩悶ノ結果死ヲ決シ八日夜公使見送ヲ斷念シ本館ヲ出テタル後人力車ニテ城門(中山門)迄行キ夫レヨリ徒步ニテ紫金山ニ向ヒ居ル

ノ上五時十分歸館セリ

633 昭和9年6月13日 在南京須磨總領事より  
廣田外務大臣宛(電報)

藏本保護につき外交部より連絡について

南京 6月13日後発

本省 6月13日後着

第六六〇號(大至急)

十三日午後四時二十分外交部ヨリ藏本ノ所在判明同部ニテ

保護中ノ由ニテ引取方電話アリ本官及有野同部ニ赴キ引取

ノ上五時十分歸館セリ

山上ニテ同僚ニ對スル挨拶ヲ爲シタル後石材等ヲ圍ミ死場所ヲ造ラムトシタルモ果サス更ニ山上ヲ彷徨シ夜ハ明ノ孝陵附近ニ野宿シテ洞穴ニテ死ヲ果サムトシテ蹠ミ居タル折柄支那側ニ名ニ發見セラレ警察廳ニ引取ラレタリ

發見セラレタル動機ハ同所彷徨中山腹ノ人家等ニテ水及食  
物等ヲ求メタルニ依ルモノノ如シ

右ノ次第二テ同人ノ失踪ハ厭世ニ起因スルモノナルコト判

明セル處前顯警察廳ニテハ谷正倫、褚民誼、沈觀鼎等ノ質問ニ對シ右ノ如キ心境ノ一部ヲ語リタル模様ニテ其ノ際沈ヨリ頻リニ厭世ノ原因ナル點ニ付一筆認メラレ度シト迫ラレタルモ拒絶シタル由ナリ不取敢

支那側ニ對スル對策等ニ關シテハ追テ卑見申進ス尙同人依然精神興奮シ居ルニ付保護方等注意中  
支、北平へ轉電セリ

~~~~~

635 昭和9年6月13日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

藏本失踪後の経過に関する中国側発表とその
捜査尽力に対する我が方謝意の表明について

(付記)

上海 6月14日後4時30分発
參謀本部 6月14日後5時50分着

支第三九六號

藏本事件ニ関シテハ大体支第三九四號ノ判断ニ基キ一應現地ノ狀況視察ノ上陸、海、外各機関トモ意見交換ヲ必要ト認メ十二日夜楠本中佐ヲ南京ニ派遣シタル處十三日藏本ハ

支那側ノ手ニテ生存ノ儘發見セラレ且意外ナル内部的事實ヲモ皆聞啞然トシテ言葉ヲ知ラス國家ノ爲誠ニ遺憾ニ不堪

楠本ノ歸來報告ニ依レハ發覺ノ報ハ第一着ニ憲兵司令谷正倫ヨリ高橋少佐ニ電話ヲ以テ傳ヘラレタルヲ以テ何ハ兎モ

アレ速ニ現場ニ於テ引取ルコト必要ト認メ自ラ急遽現場ニ臨ミタルモ既ニ支那警察廳ニ收容セラレタル後ナリシヲ以テ直ニ谷正倫ニ交渉スルト同時ニ一方領事館ヲ督勵シ速ニ引取り方努力セシメタルモ結局藏本ハ警察廳ヨリ外交部ニ引取ラレ午後五時始メテ須磨領事ニ引渡サルコトトナリ

而モ其間支那側ハ藏本ヨリ事情一切ヲ聽取セルノミナラス支那及外國新聞記者トモ接見ノ機會ヲ與ヘタル模様ニテ藏本自白ノ證言ハ頗ル詳細ヲ極メテ全世界ニ傳ヘラルニ於テハ遺憾至極ニシテ支那側ノ採レル卑怯千萬ナル手段ニ對シテハ憤慨措ク能ハス谷ニハ其不都合ヲ詰リ置キタル由ナルモ事此ニ至ツテハ既ニ處置ナシ寧ロ不問ニ附シ支那側ニ

對シテハアツサリシタル態度ニ出テテ速ニ事件ノ解決ヲ告
クル外ナカルヘシト思考ス

藏本失踪事件に関する中國側への謝意表明な

どにつき訓令

第一〇四號(大至急、極秘)

本省 6月14日前2時発

636 昭和9年6月14日 在南京須磨總領事宛(電報) 年田外務大臣より

貴電第六六〇號乃至第六六二號ニ關シ
一、汪兆銘其ノ他支那側ニ對シテハ此ノ際アツサリ謝意ヲ述
フル外致方ナシト存セラル、ニ付貴電第六六二號ノ通取
計ハレ度

二、本件ニ關シ本十三日ハ貴電第六六〇號ノミヲ發表シタル
カ十四日夕刊ニハ「藏本ハ多少氣カフレ、フランクト領
事館ヲ出テタルモノラシク目下不取敢領事館内ニ休息セ
シメツ、アルモ何分疲勞興奮ノ爲其ノ云フ所支離滅裂ニ
シテ真相判明セス」トノ趣旨(右ハ藏本ニハ氣ノ毒ナルモ
本邦輿論ノ手前此ノ位ノコトハ發表方已ムヲ得サルヘク

尙今後ノ發表モ全人ハ氣カ觸レ居ル建前ニテ可然辻棲ヲ
合ハス外致方ナシト存ス)ヲ發表シ度處右ニ對スル貴見
折返シ回電アリ度
尙又今後ノ發表ハ出來得ル限、内外同一ノ歩調ヲ取り度
ニ付成ル可ク當方ト貴方トノ間ニ打合セタル上トシタキ
モ右困難ナル場合ハ貴地ニ於ケル發表振前廣ニ當方へ大
要屢次電報アリ度シ
参考トシテ支、北平、天津、濟南、青島、漢口、福州、廣
東、廈門、滿ヘ轉電セリ

637 昭和9年6月14日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

藏本失踪事件解決に當たつて汪兆銘に対し謝
意表明および同事件が日中關係に何ら影響を
与えない旨確認について

貴電第一〇四號(至急、極秘)
第六七〇號(至急、極秘)

南京 6月14日後発
本省 6月14日後着

三、尙本官ヨリ序ヲ以テ藏本ノ容態診斷ノ結果概要(往電第
ノ責任ヲ執ル旨ハ曩ニ答ヘ置キタル所ナルカ支那ハ全力
ヲ擧ケテ搜査ニ任シ幸ニ目的ヲ達シタルハ同慶ニ堪ヘス
ト答ヘ尙(二)ノ點ニ付テハ至極同感ナリト應シタリ
(2)、次テ汪ハ藏本救出ノ經過等發表ニ關シ支那側ニテハ充分
慎重ヲ期シ發表事實以外色々臆測記事等ヲ掲ケ空氣ヲ惡
化セシムルコトナキ様注意シタルカ一、二ノ新聞ニ少シ
ク批評的記事ヲ掲ケタルモノアルモ本日ノ各紙ハ大體ニ
事實ノミヲ報道シ居ルハ好都合ナリトテ尙今後モ同趣旨
ニテ取締ル旨語レリ

六六七號)ヲ告ケ置キタルニ汪ハ一日モ早ク全快ヲ祈ル

旨挨拶セルカ右談話ノ間同席ノ唐有壬ハ有野ニ對シ支那側ニテハ藏本氏個人ノ(體)面ヲモ考へ批評的或ハ冷ヤカシ的ノ記事ヲ掲ケサル様取締居ル旨語リ有野ヨリ好意ヲ謝スル旨答へ置キタル趣ナリ

尙又同日右ニ引續キ本官警察廳及憲兵司令部ヲ訪問シ夫々

謝意ヲ表シ置ケリ

冒頭往電ノ通轉電セリ

廣東ヨリ香港へ轉電アリタシ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

638 昭和9年6月15日 在中國有吉公使より
廣田外務大臣宛(電報)

藏本失踪事件解決後の穩當な中國紙報道振り
および挑發的な日本外務省スポーツマン談

話を伝えるJP電について

上海 6月15日後発
本省 6月15日後着

第四八五號

南京發大臣宛電報第六七〇號ノ一二關シ

本十五日ノ當地漢字紙ハ事實ヲ詳細ニ報道シ居ルニ止マリ其ノ取扱振ニ冷評カマシキ所ナク英字新聞モ外務省發表ヲ報セル十四日東京發聯合往電第四八三號藏本談話須磨ノ汪等ニ對スル謝意表示、同總領事館ノ發表等ヲ報セル南京發聯合等ヲ掲載シ居レルカ見出等穩當ニシテ(前日多少煽動的ナリシ「チャイナ、プレツス」モ本日「日本側精神錯亂ヲ承認ス」「日支關係ヲ脅セル事件兩國官憲ノ満足表明ニテ終局ス」等極メテ冷靜ナル態度ヲ示セリ)其ノ論說モ何レ

モ本件ノ満足ナル終結ヲ喜フ妥當ナル内容ノモノナリ只右例外ヲ爲スハ左ノ記事ノミナリ
「イブニング、ポスト」(十四日)日本官民カ早マリタル言動ニ出テタル結果ハ面子ヲ失フ事トナレリト述ヘ
日本ノ要求、軍艦派遣、居留民大會、挑發的聲明カ一小事實ノ前ニ崩壊セルヲ見ル時日本ノ立場カ信用シ難キ程不注意ナリシ事疑ヲ容レス

全上(十五日)、後述「ユーピー」報道ヲ引用シ出先ニ須磨ノ如キ有能ナル外交官カ危機ノ場合ニ如何ニ手腕ヲ振フモ御膝下ノ東京ヨリ右「ユーピー」ノ如キ有害ナル發言振ヲ

爲ス場合ハ何等役ニ立タス云々ト述フ

十五日「ノース、チャイナ、デリー、ニュース」ハ十四日東京發「ユーピー」「China held responsible for Kuramoto crisis」日本外務省發言人ハ一九三一年以來南京在留邦人壓迫セラレタト稱ス、日本側ヨリ陳謝ノ意ナシ、本事件ヲ利用シ日本ヲ罵倒スル在日支人ハ之ヲ放逐^(遂^タ)遂^タスヘシ」ヲ一面ニ掲ケタリ

南京、北平へ轉電セリ

639 昭和9年6月16日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

藏本失踪事件に対し日本政府は遺憾の意を表明する必要があるとの沈覲鼎内話について

南京 6月16日後発
本省 6月17日前着

第六七八號

十六日他用ヲ以テ沈覲鼎ト會見ノ際沈ハ非公式ニ且全然個人的ノ資格ヲ以テ申上クル次第ナルカト前提シ最近到着セル日本新聞ニ依ルニ藏本事件ハ可ナリ激越ナル筆致ヲ以テ

報道セラレ居リ且十二日日本政府ハ貴官ヲ通シ正式ニ支那側ノ責任ヲ問ヒタルニモ顧ミ貴官カ十四日汪院長ニ對シ虛心坦懐謝意ヲ表示シタルノミニテハ本件解決ヲ看タリトハ云ヒ難ク日本側カ不當ナル疑惑ヲ投ヶ掛ケタルニ付テハ不快ノ念ヲ懷キ居ルモノ鮮カラス殊ニ十四日東京發U.P.所報ノ外務省「スポーツマン」態度(公使發閣下宛電報第四八五號末段)カ事實ナリトセハ愈再考ノ要アル次第ニテ昨日來要人中ニハ同様ノ意見ヲ有スルモノ鮮カラス此ノ際日本政府ヨリ遺憾ノ意思表示無ケレハ兩國關係ニ暗影ヲ貽スニ非ヤト思考セラルト述ヘタルヲ以テ本官ヨリ支那ニ多數ノ居留民ヲ有スル日本トシテハ帝國官吏ノ失踪ヲ四日モ五日モ正式ノ「リブリゼンテーション」無シニ放置シ得サルハ勿論ニテ今回モ當然執ル可キ措置ヲ執リタルニ過キス又新聞ノ書振等ヨリ日本側ノ疑惑ヲ云爲スルニ於テハ我方トシテモ支那側ノ平生邦人ニ對スル態度カ右疑惑ヲ「ジアスチファイ」スルモノアリタル點等ニ付支那側ノ責任ヲ問ハサルヲ得スルテハ無事藏本ノ救出ヲ見圓滿終結ヲ告ケタル本件ヲ好ンテ日支關係惡化ノ具ニ供スルニ等シカル可ク現ニ^(十四タ)二十一日汪院長ハ本官ニ對シ兩國ノ疑惑カ一掃セラレタル

旨ヲ述ヘタルノミナラス同席ノ唐次長モ有野書記官ニ對シ之ニテ本件ハ解決済ナリト述ヘ居タルニ非スヤ貴見ハ全然之ト矛盾シ居レリト突込ミタル處沈ハ本日ノ會談ハ全然個人的ノモノニテ趣旨ハ了解セルニ付今一應考へ直ス可シト答ヘ居タリ

事件後ノ支那側空氣觀測ノ御参考迄
支、北平へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

640 昭和9年6月25日

在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

藏本失踪事件中における日本の軍事行動に対する中國側警戒振りにつき米國總領事などの内話について

南 京 6月25日後発
本 省 6月25日後着

第七三〇號(極秘)

⁽¹⁾ 藏本事件ハ往電第六七〇號ノ通り本官ヨリ虛心坦懷謝意ヲ表シタルコトニ依リ完全ニ終結シタル次第ナルカ最近「ペ申入レ來ラス又同司長ノミナラス一般支那要人モ本官等ニ對シ却テ一安堵ノ風ヲ隱シ得サルハ或ハ前記支那側氣持ノ反映トモ觀ラレサルニアラサル次第ナリ
右將來ノ御参考迄

支、北平へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

ツク」ハ本官ト豫テ^(曉々)昵懇ノ間柄ナルニ任セ後日物語トシテ談笑ノ間ニ支那側ハ事件發生以來毎日ノ如ク人ヲ自分ノ許ニ派シ日本側態度ノ探査方ヲ依頼シ支那側ニシテ藏本ノ行衛ニ付何等端緒ヲ擗ミ得サルニ於テハ日本ハ陸戰隊ヲ上陸セシメ自力ニ依リ捜査ノ覺悟ナル由ナルカ事實ナルヘキカト尋ヌル等周章狼狽ノ體見ルニ忍ヒサリキト内話シタルカ「ホルマン」モ亦過日本官ニ對シ支那側ニハ日本カ事件ノ即時解決ニ資スル爲第一番ニ鼓樓ヲ占領シ行々ハ鼓樓ヲ中心ト附近一帶ノ地域ニ日本人ノ爲ニ一安全地帶ヲ設定スルニ至ラント觀測シ居ル向モアリタリト笑話シタリ又過日本官ヲ來訪セル「パウエル」「ハ里斯」(上海A、P支局長)等モ日本側ハ南京ニ陸戰隊ヲ相當長ク上陸セシメ行々ハ「コンセツシヨン」ヲセシメント計畫シ居タリトノ支那側ヨリノ聞込ヲ内話シ居タリ
今次事件ニ付支那側カ當初如何ニ戰慄狼狽シタルカハ右ニ依リテモ其ノ一端ヲ窺知シ得ルト同時ニ我方準備ノ要求力決シテ過大ナラサリシヲ推知シ得可シ又沈司長等カ本件ニ關スル日本ノ新聞報道振又ハ日本側ノ措置等ニ付兔ヤ角云ヒナカラ(往電第六七八號)實際ハ何等不服ケ間敷キコトヲ